

# Power of a winged chariot and "like the hand" — Allegories of the soul in Plato and Aristotle

## こころをばなににたとへん — 「翼の付いた戦車の動力」 (プラトン) と 「手のように」 (アリストテレス)

こころは誰もが持っているものですが、それがいかなるものであるかはいまだ科学的に十全な仕方で解明されているとは言えません。しかし、古来から洋の東西を問わず、こころはその本質を把握しようとする人々によって様々なものに譬えられてきました。

本セミナーでは、西洋におけるその古典的な事例、すなわちこころをめぐってプラトンとアリストテレスが案出した比喩について、その要点をどなたにでも解りやすく—とはいえ議論の水準を不必要に下げるとはせず—お話し致します。

講演は英語で行われますが、当日は日本語での要旨も配布致します。皆様の御来場を御待ちしております。



**講演者：Thomas Buchheim**

(トーマス・ブフハイム)

ミュンヘン大学 (LMU) 教授

**日時：2013年6月5日 (水)**

18:15 – 19:30 講演会

19:40 – 20:40 懇親会

**場所：人環棟233演習室**

先生は現在、古代哲学会

(Gesellschaft für antike Philosophie) 会長をお務めであり、ギリシア哲学の研究者として世界的に著名な方です。

人間・環境学研究科の客員教授によるセミナーです。専門の異なる院生・教員の皆さんも奮ってご参加ください。懇親会のみ参加も歓迎します。

主催：人環国際交流委員会

問合せ：国際交流委員・留学生アドバイザー

藤田 (fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp)